



# 学院史編纂室便り

NO. 45 (2017.5.1)  
関西学院大学 学院史編纂室

## ★『関西学院史紀要』第23号の発行

3月15日に『関西学院史紀要』第23号を発行しました。当紀要(第6号以降)は「関西学院大学リポジトリ」に登録されていますが、印刷物をご希望の場合は学院史編纂室までご連絡ください(創刊号、2号、12号、13号、15号は在庫なし)。

- |         |   |           |
|---------|---|-----------|
| 〔特別寄稿〕  | 関西学院とヴォーリス  | 田淵 結      |
| 〔論文〕    | 「『関西学院』の命名とその音声」補正と追補                             | 池田 信      |
| 〔研究ノート〕 | ベーツ資料の翻訳ー『関西学院六十年史』と『関西学院七十年史』ー                   | 池田 裕子     |
| 〔記録〕    | 第46回 関西学院史研究会<br>この九年間を振り返ってー院長として考えたこと、感じたことー    | ルース・グルーベル |
|         | 第47回 関西学院史研究会<br>ランバス父子が見えてきたーランバス日本宣教130周年に当たってー | 野田 和人     |

## ★神戸文学館企画展「煉瓦色の記憶～100年前の原田の森」の開催

4月28日より、神戸文学館(旧関西学院ブランチ・メモリアル・チャペル)にて、標記企画展が開催されています(7月30日まで。水曜休館。入場無料)。同展のため、前号で紹介した大西昭夫さん(商学昭48)ご寄贈資料(詳細は、前号掲載の「阪急電鉄の歴史と関西学院～古い沿線案内や絵葉書で見る変遷～」参照)や同人誌、器物等50点近くの資料を当室から貸し出しています。現在、大学博物館(西宮上ヶ原キャンパス時計台2階)で開催中の平常展「Gift for the Future 関西学院のあゆみー大学昇格をめざして・上ヶ原移転物語ー」と併せて、ぜひご覧ください。

この企画展を記念し、5月13日の同館土曜サロンで、関西学院大学博物館学芸員の高木香奈子さんがお話されます(「1929年、原田の森から上ヶ原へ 関西学院移転物語」、定員50人、申し込み制)。

なお、昨年12月10日と17日のサロンでは、文学部の大橋毅彦教授担当のハンズオン・ラーニング・プログラムに位置づけられる「日本文学特殊講義」を受講する学生たちによる文学講座「100年前の神戸・文芸・文化」が開催されました。

1回目は「神戸のカフェ文化を探る」、2

回目は「文芸作品と港街・神戸の関わり」をテーマに、4人の学生が15分ずつ報告した後、会場の参加者と意見交換しました(進行:大橋教授、写真提供:神戸文学館)。今回の企画展には、学生たちの考察も展示されています。

## ★移住ミュージアム企画展「日本コーヒー開花物語」への資料提供

5月27日から7月30日まで、神戸の移住ミュージアム(海外移住と文化交流センター、神戸市中央区山本通3-19-8)で開催される標記企画展(主催:一般財団法人日伯協会・神戸市、月曜休館、入場無料)にて、関西学院卒業の畑敏三(普通明32)と星隆三(高商大8)【写真右】が日本のコーヒー史に重要な役割を果たしたことが紹介されます。そのため、当室からも資料を提供しました。畑に関しましては、本号2～3頁の記事もご覧ください。

## ★ベーツ院長生誕140年

広報誌でも紹介した通り(「誕生日に書いた辞表」、『K.G. TODAY』No. 295、2017年4月、23頁)、本年はC. J. L. ベーツ第4代院長生誕140年に当たります(1877年5月26日、カナダ・オンタリオ州ロニャル生まれ)。当『便り』でも本号(4～8頁)と次号で、ベーツ院長にまつわる話を掲載します。

次の刊行物をご希望の教職員は、学院史編纂室(西宮上ヶ原キャンパス時計台1階)までご連絡ください。

- ◆ 『関西学院百年史』 資料編Ⅰ・Ⅱ  
通史編Ⅰ・Ⅱ  
通史編索引
- ◆ 『関西学院事典』 増補改訂版
- ◆ 『関西学院校歌「空の翼」』 復刻版

